

第2・3学年 国語科学習指導案

日時 平成25年10月31日(木) 5校時
児童 2年 男子 0名 女子 1名 計1名
3年 男子 0名 女子 2名 計2名
指導者 竹花 貴子

〈2年〉

- 1 単元名 せつ明のしかたを考え、分かりやすいせつ明書を書こう
- 2 学習材名 「しかけカードの作り方」 ふるうち ひかる (光村図書2年下)
「おもちゃの作り方」 (光村図書2年下)

3 単元目標

○作り方に興味を持って読み、おもちゃの作り方の説明を書こうとしている。

◎説明されている事柄の順序や、写真と文章のつながりを確かめながら、文章の大体を
読むことができる。

◎作り方の手順に沿って、工夫しながらおもちゃの説明文を書くことができる。

○順序を表す言葉や、分かりやすく説明するための言葉について理解している。

4 単元について

(1) 児童観

児童は、第1学年で、挿絵や写真と文章を照応させたり、文末表現に着目し、問いと
答えの文を関連づけたりしてきた。また、事柄の配列に気をつけながら読んできた。第
2学年では、「たんぽぽのちえ」で、時間の順序や理由づけの言葉に着目しながら、「ど
うぶつ園のじゅうい」では、時間的順序や事柄の順序を考えながら読み進め、一日入学
時に説明する「そうじのしかた」を書くなどしてきた。このような学習を通して、書かれ
ている事柄の大体を捉えることや、順序を捉えながら読むことができるようになってき
ている。本単元の学習では、順序を正しく理解したり、言葉に着目し、書き方の工夫に
気付いたりしながら読みを深めることができるようになることをねらっている。

書くことにおいては、「今週のニュース」で、身近なことについて様子や気持ちを入れて
ニュースを、「かんさつ名人になろう」では、観察文を書くなどして、書くことを決め
て、必要な事柄を集めたり、事柄の順序に沿って構成を考えたりすることができるよ
うになってきたが、作り方の手順を説明する文章を書いたことはまだない。

読書については、動物や生き物、植物に関する本などを紹介しながら楽しみを広げて
きた。日常的にも意欲的に読書をする様子が見られる。しかし、使い方や作り方の手順
を説明しているものは少ない。本単元では、物作りの本も紹介し、並行読書で確かめさ

〈3年〉

- 1 単元名 物語の変化をびょうぶで教えよう
- 2 学習材名 「三年とうげ」 李 錦玉 (光村図書3年下)
- 3 単元目標

○民話の展開に興味を持って読み、民話屏風を書こうとしている。

◎場面の移り変わりを捉え、登場人物の変化を読み取ることができる。

○民話を読んで考えたことを発表しあったり、おすすめの変化を伝えあったりし、感じ
方には違いがあることに気づくことができる。

○お話で使われている言葉に着目し、場面の移り変わりや登場人物の変化、感想を書き、
表現するための語句を増やしている。

4 単元について

(1) 児童観

児童は、第2学年の「スーホの白い馬」では、あらすじを捉え、感動したところを中
心にまとめる学習をした。その後、動物の出てくる外国のお話を「お話たからばこ」で
紹介した。そのような学習を通して、登場人物の行動を中心に、場面の様子について想
像を広げながら読むことができるようになった。第3学年「きつつきの商売」では、「場
面」、「登場人物」について学び、2つの場面の様子が伝わるように音読した。「海をか
つとばせ」では、人物に着目した読みをして、自分と比べながら場面ごとの主人公の行
動や気持ちの変化をまとめた。「ちいちゃんのかげおくり」では、ちいちゃんがかげお
くりをする2つの場面を比べ、移り変わりに気をつけながら読み進め、心を打たれた場
面を中心に感想を書いた。このことにより、場面を捉え、変化を感じることや、叙述に
基づいた読み取りができるようになってきている。本単元の学習では、場面の移り変わ
りとともに変化する登場人物の気持ちや様子を捉え、読みを深めることができるよ
うになることをねらっている。

また、民話の組み立てについては初めてであるが、話の骨格をつかむ学習や、事件・
結末などを読み取る学習は、今までの学習で行ってきている。

読書については、第1学年では、日本の昔話、第2学年では、日本の神話などと読み

せながら、読書の楽しみも広げていきたい。

(2) 学習材観

ア 中心学習材

第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の目標は、「書かれている事柄の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」である。また、「B 書くこと」の目標は、「経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる」である。これを受けて、本単元では、「C 読むこと」の内容「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」と「B 書くこと」の内容「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」の指導事項を重視している。

本単元は、「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」で構成されている。「しかけカードの作り方」は、開くと飛び出すカードの作り方を文と写真で説明しており、3項目に分けられる学習材である。児童にとって、手順ごとに書かれた文章を読むのは初めてであるが、実際に自分で作りながら、説明のしかたについて確かめ、順序を表す言葉や写真、見出しなどにより分かりやすさを実感できる。

「おもちゃの作り方」では、読むことの学習と対応させ、順序を表す言葉や挿絵などを使って書き、定着させることができる。さらに、並行読書では、おもちゃの作り方が分かりやすく書いてある本を紹介する。同じ型で示された作り方は少ないものの、それぞれ書き方が工夫されており、書き方のよさを実感しながら、作り方の構成の型を一般化できるであろう。また、おもちゃだけでなく、料理などの作り方や手品の本も紹介する。読む楽しさを広げながら、手順を示す型に対する意識の深まりを期待している。さらに、学習と並行して読むことで、学習したことを生かしながら、作り方の説明に興味を持って読み進めることができるであろう。

イ 補助学習材例

『手づくりおもちゃのかかくかん』シリーズ 木村 裕一 ほるぷ出版

『工作してあそぼう』 サリー・ヘウィット 偕成社

(3) 指導観

ア 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「おもちゃの作り方の説明書を書く」ことを単元を貫く言語活動として設定する。おもちゃの作り方の説明書とは、最初におもちゃの紹介、材料と道具が書いてあり、次に、作り方が手順ごとにおおむね4段落に分けて書かれ、最後に簡単な遊び方が書いてある図入りの説明カードである。それを書くためには、「しかけカードの作り方」の読み取りにおいては、順序を表す言葉や写真などを手がかりにして文章を読みまな

を広げており、日々楽しみながら意欲的に読書をする様子が見られる。しかし、日本の物語や絵本であることが多く、外国の物語や民話などはあまり多くない。

(2) 学習材観

ア 中心学習材

第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。これを受けて、本単元では、内容「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」の指導事項を重視している。

本単元の中心学習材「三年とうげ」は朝鮮半島に伝わる民話であり、物語の構成が分かりやすく、物語の一般型を理解しやすい。そして、語り口もリズムが楽しく、また、トルトリの逆転の発想で言い伝えを幸せに転じたとんち話のようなおもしろさが子どもたちを引きつける。さらに、並行読書では、話の構成が分かりやすく、場面の移り変わりが捉えやすい世界の民話を紹介する。世界地図に示された世界の民話は、たくさんの地域から紹介されており、ただ読むだけでなく、絵や文章にお国柄が表れていたり、共通点があったり、比べながら読む楽しさや、世界を旅行するような楽しさも味わえるであろう。また、たくさんの民話を読むことで、物語の構成の型を一般化できるだろう。さらに、学習と並行して読むことで、学習したことを生かしながら、世界の民話に興味を持って読み進めることができるであろう。

イ 補助学習材例

『とらとおじいさん』 アルビン：トレセルト 大日本図書

『むかしむかしとらとねこは・・・』 大島英太郎 福音館書店

『おばけのトッカビと朝鮮人参』 水谷 章三 太平出版社

(3) 指導観

ア 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「民話びょうぶを作る」ことを単元を貫く言語活動として設定する。民話屏風とは、1枚目に登場人物の紹介と、クライマックスまでのあらすじがあり、2枚目には、クライマックス直前の登場人物の様子や挿絵、3枚目には、クライマックス後の様子や挿絵と引用を用いたその場面の説明、4枚目にはおもしろいと思った理由や紹介があり、そして、3枚目と4枚目は矢印でつながれ、誰がどうなったかが要約で表されており、その4枚つながった様子が屏風のように見える本紹介カードである。それを書くためには、場面の移り変わりを捉えながら、登場人物の変化について想像して読むことが必要となる。従って、本単元でねらう「場面の移り変わりを捉え、登場人物の変化を読み取ること」(読むことウ)を実現するのにふさわしい言語活動と考える。

がら、そのよさをまとめ、その読みを「おもちゃの作り方」でも関連させることが必要となってくる。従って、本単元でねらう「説明されている事柄の順序や、写真と文章のつながりを確かめながら、文章の大体を読むこと」（読むことイ）「作り方の手順に沿って、工夫しながらおもちゃの説明文を書くこと」（書くことイ）を実現するのにふさわしい言語活動と考える。

イ 単元の流れ

第一次では、しかけカードやおもちゃの作り方のモデルを見て、単元の学習計画を立てることで、児童自らが単元全体の見通しを持ち、ゴールを意識しながら学習を進められるようにする。

第二次では、中心学習材を読んでいく。説明書の分かりやすさを見つける際は、写真や挿絵を対応させて読むといいことに気づかせたい。そのために、写真のない文で、言葉を大切に読ませ、そして、写真も示し、文と写真を確認めながら読ませたい。また、見出しや順序を表す言葉があると分かりやすいことを気づかせるために、これらを省いた文を示し、比較させたい。段落を入れ替えて提示することで、順序も大切であることに気づくと思われる。そして、説明書の分かりやすさのこつを「ポイントブック」としてまとめ、おもちゃの説明文を書く際に生かさせたい。また、単位時間の中に並行読書を位置づけたり、家庭読書をする際の視点を与えたりしながら、学習した読みが自分の読みに生かせるようにしていきたい。

「おもちゃの作り方」と「けん玉の作り方」では書き方のこつがほぼ一致するが、後者では、「すること」と「注意すること」が一文になっている。目的や相手に合わせて書き方や言葉を選び、一番適したものを選択するようにさせたい。

第三次では、自分で選んだおもちゃの説明文を書く。その際には、順序を表す言葉やその順番、見出し、挿絵を一致させることなどポイントブックにまとめたことを意識して取り組ませたい。また、説明書は来年度の1年生に一日入学の日にプレゼントすることを知らせ、相手を意識しながら分かりやすく説明させたい。完成後は、3年生も一緒に図工科で楽しみながら、学習の振り返りをしたり、達成感を味わったりさせ、進んで本を読んだり、文章を書いて表現したりする意欲につなげたい。

本学級は、2・3学年の複式学級である。発表会の交流だけでなく、単位時間の中でも異学年間の交流を図り、お互いの学習を深められるようにしたい。また、3年生や全校に発表するだけでなく、人首小学校との作品交流も行う予定である。さらに、学習者が1名であるので、架空の学習者を登場させ、考えを深めさせていく。

本時の指導では、前時に説明の工夫として見つけた見出しや順序を表す言葉を使うことに加え、具体的な数値や絵を用いるよさを、書き直された不完全な文を使用することで気づかせていきたい。そして、見つけた工夫をポイントブックにまとめさせていく。

イ 単元の流れ

第一次では、「三枚のお札」の民話屏風のモデルを見て、単元の学習計画を立てることで、児童自らが単元全体の見通しを持ち、ゴールを意識しながら意欲的に学習を進められるようにする。

第二次では、中心学習材を読み、「三年とうげの民話びょうぶ」を作っていく。児童が民話屏風を書くという目的を持ちながら、場面の移り変わりのおもしろさを捉えたり、要約や引用を用いておもしろいと感じた根拠を明らかにしたりしながら民話を紹介できるようにしていく。そのために、まず、登場人物の人柄やあらすじなどを構造表を使ってまとめていく。そして、既習事項を生かしながら1枚目の屏風を作らせていきたい。次に、クライマックス後の変化を表す3枚目の屏風は、その場面の挿絵と説明の文とし、お話の引用を取り入れた分かりやすい紹介にさせる。その前の2枚目の屏風では、クライマックス直前の様子を、挿絵と矢印カードで表させ、移り変わりのおもしろさを伝えさせる。4枚目の屏風は、おもしろいと思った理由を、場面の変化を中心に、お話を引用させたり、感想や紹介の言葉を示したりし、語彙を増やさせていく。このような活動を通して、既習の力を高めつつ、場面の移り変わりを捉える力をつけていきたい。また、単位時間の中に並行読書を位置づけたり、家庭読書をする際の視点を与えたりしながら、学習した読みが自分の読みに生かせるようにしていきたい。さらに、本単元では、世界の民話を世界地図と併せて紹介し、学習した読みを並行読書で確かめさせながら、読書の質的な向上を図っていきたい。その際には、おもしろいと思った場面に付箋を貼るようにしたり、変化のおもしろさのレベルを色シールで表現させたりし、感じ方の違いも楽しませたい。

第三次では、自分で選んだ世界の民話について民話屏風を書く。その際には、2年生や全校児童に紹介したり、人首小学校や合同学習を行う梁川小学校と作品交流を行ったりすることを知らせ、相手を意識しながら分かりやすく書かせたい。最後には、学習の振り返りをさせたり、達成感を味わったりさせ、進んで本を読んだり、文章を書いて表現したりする意欲につなげたい。

本学級は、2・3学年の複式学級である。作った民話屏風を紹介しあって交流するだけでなく、単位時間の中でもアドバイスをさせるなどしながら交流を図り、お互いの学習を深められるようにしたい。また、考えを深めさせるため、架空の学習者を登場させ、学習を進めていく。

本時の指導では、「三年とうげ」の場面の移り変わりを捉える。クライマックスで変化する前のおじいさんの様子と、その後の場面のおじいさんの様子を比較させることで、変化を捉えさせたい。また、おじいさんがどのように変化したのかを、矢印カードに要約して紹介させ、変化の読みを深めていきたい。

5 単元指導計画

2年				3年			
次	時間	学習活動	主な評価規準	次	時間	学習活動	主な評価規準
第一次	1	・手作りおもちゃを作り，説明書で友だちに紹介することに関心を持つ。(並行読書を始める)	㊦これからの学習について，おもちゃの作り方のモデルなどから関心を持つとしている。	第一次	1	・民話屏風を作ることに関心を持つ。(並行読書を始める)	㊦これからの学習について，民話屏風のモデルなどから関心を持つとしている。
	2	・学習材の全文を読み，分かりやすい説明書を書くためのポイントブックを作り，説明書を書こうという学習課題を設定し，学習課題をたてる。	㊦おもちゃの作り方やポイントブックについて知り，分かりやすい説明書について学習することを捉えようとしている。		2	・学習材の全文を読み，民話屏風を作ろうという学習課題を設定し，学習課題をたてる。	㊦民話屏風について知り，場面の移り変わりについて学習することを捉えようとしている。
第二次	1	・文章構成を読み取る。 ・しかけカードを作ってみる。	㊦文章の組み立てに気付きながら読んでいる。	第二次	1	・「三年とうげ」の文章構成を読み取る。	㊦文章の構成を捉えながら読んでいる。
	2	・「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。	㊦見出しや順序を表す言葉を使うことよさに気付きながら読んでいる。		2	・「三年とうげ」のあらすじや登場人物の人柄などをつかむ。(屏風に書く)	㊦お話の前半を要約したり，人柄などについて読みを深めたりしながら読んでいる。
	3 本時	・「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読み，ポイントブックにまとめる。	㊦具体的な数値，絵を用いることよさに気付きながら読んでいる。		3 本時	・「三年とうげ」の，おじいさんの変化後とその前の屏風を作る。	㊦登場人物の変化や場面の移り変わりを捉えている。
	4	・「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」を比較しながら読み，書き方のよさを確かめる。	㊦作るときに気をつけることや書き方のよさに気づいている。		4	・「三年とうげ」のおもしろさを，場面の変化に着目しながら捉える。(屏風に書く)	㊦場面の移り変わりで変化する登場人物の様子に着目しながら読んでいる。
第三次	1	・自分の選んだおもちゃの説明書を書く。	㊦自分の決めたおもちゃについて，手順に沿って必要な要素を入れて書いている。	第三次	1	・自分で選んだ本の民話屏風を作る。	㊦登場人物の変化や場面の移り変わりを捉えている。 ㊦読む人によって感じ方が違うことに気づいている。
	2	・様々な書き表し方を知る。			2	・書いたものを交流する。	
	3	・3年生と交流する。 ・振り返りをする。			㊦順序を表す言葉や，手順を表すのにぴったりの言葉を使って書いている。	3	

6 本時の指導

(1) 目標

○説明書に必要な要素について気付くことができる。

(2) 評価

2年		3年	
主な評価規準	支援	主な評価規準	支援
図具体的な数値，絵を用いることよさに気付きながら読んでいる。	・書き直した教材文を見ながら実際に作らせ，具体的な数値，絵がなかったらどうかを考えさせる。	図登場人物の変化や場面の移り変わりを捉えている。	・おじいさんのしたことに着目させ，2つの場面の様子を考えさせる。

(3) 展開

2年			3年		
・準備 *ポイント	学習活動	形態 段階	学習活動	・準備 *ポイント	
*前時に見つけた「説明のポイント」を確かめる。	1 前時を想起する (1) 小テスト (2) 学習内容の確認 ・作る物を書く ・見出しを書く ・順番を表す言葉を入れる	つ か む 8 分	1 前時を想起する ・小テスト ・学習内容の確認	*「三年とうげ」の構成と，自分のおすすめの場面を確かめる。	
	2 課題を把握する		2 課題を把握する クライマックス前と後のびょうぶで おじいさんの変化を教えよう		
*説明のポイントを考え，ポイントブックにまとめることを確認する。	3 視点を確認する		3 視点を確認する	*登場人物がどうなったかに着目して作ることを確認する。	
*架空の学習者を登場させ，学習を深める。 ・書き直した教材文	4 課題解決の取り組み (1) 説明のポイントを見つける ・数字 ・写真や絵 ・完成図	た し か め る	4 課題解決の取り組み (1) 変化後の屏風を作る。 ・絵 ・場面の説明を書く (2) 変化前の屏風を作る。	・ワークシート *早く終わったら，ペアで確かめる	
	○具体的な数値，絵を用いることよさに気付きながら読んでいる。 *支援 書き直した教材文を見ながら実際に作らせ，具体的な数値，絵がなかったらどうかを考えさせる。				

(1) 目標

○「三年とうげ」の展開を捉えることができる。

<p>・ポイントブック</p>	<p>(2) 課題解決 ・ポイントブックにまとめる</p> <p>(3) 深める ・並行読書している本で説明のポイントを確認める。</p>	<p>た し か め る</p> <p>27分</p>	<p>た し か め る</p> <p>27分</p>	<p>(2) 課題解決 ・移り変わりを確認する。 ・矢印カードに記入する。</p> <p>○登場人物の変化や場面の移り変わりを捉えている。 ※支援 おじいさんのしたことに着目させ、2つの場面の様子を考えさせる。</p>	<p>*架空の学習者を登場させ、学習を深める。 ・矢印カード</p>
<p>*3年生と一緒にまとめる。</p> <p>① 作るものを書く ②見出しを書く ③じゅん番をあらわすことばを入れる ④数字をつかう ⑤しゃしんや絵を入れる ⑥かんせい図も入れる</p>	<p>5 まとめる ・説明書のポイントを発表する。</p>	<p>ま と め る 5分</p>	<p>ま と め る 5分</p>	<p>5 まとめる ・展開をまとめる。</p> <p>三年とうげで転んで、病気になってしまったおじいさん。 ↓ 歌のおかげで元気になったおじいさん。</p>	<p>*2年生と一緒にまとめる。</p>
<p>*新しく学んだことを確認する。 *次時の内容を簡単に確認する。</p>	<p>6 学習を振り返る ・今日の学習を振り返る。 7 次時の学習について知る</p>	<p>振 り 返 る 5分</p>	<p>振 り 返 る 5分</p>	<p>6 学習を振り返る ・今日の学習を振り返る。 7 次時の学習について知る</p>	<p>*新しく学んだことを確認する。 *次時の内容を簡単に確認する。</p>

(4) 板書計画
〈2年〉

<p>..... 説明書のポイント(まとめ)</p>	<p>教材文(しかけカードの作り方)</p>	<p>課題</p>	<p>しかけカードの作り方</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>

〈3年〉

<p>屏風①</p>	<p>教材文(三年とうげ)</p>	<p>課題</p>	<p>三年とうげ</p>
<p>屏風②</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>

「けん玉の作り方」並行読書 ブックリスト

(作り方・遊び方の本を読もう)

- 1 手作りおもちゃのかがかく館③てこでうごかす
木村裕一 ほるぷ出版
- 2 手作りおもちゃのかがかく館⑤おってうごかす
木村裕一 ほるぷ出版
- 3 手作りおもちゃのかがかく館⑥空気でうごかす
木村裕一 ほるぷ出版
- 4 手作りおもちゃのかがかく館⑨とぼしてあそぶ
木村裕一 ほるぷ出版
- 5 手作りおもちゃのかがかく館⑩光とじしゃくであそぶ
木村裕一 ほるぷ出版
- 6 手作りおもちゃのかがかく館⑫自然であそぶ
木村裕一 ほるぷ出版
- 7 やさしいこうさく③紙皿のこうさく 小峰書店 竹井史郎
- 8 やさしいこうさく④紙コップのこうさく 小峰書店 竹井史郎
- 9 やさしいこうさく⑩ふくろのこうさく 小峰書店 竹井史郎

「三年とうげ」並行読書 ブックリスト

(世界の民話を読もう)

- 1 とらとおじいさん アルビン・トレセルト 大日本図書 (中国)
- 2 むかしむかしとらとねこは・・・大島英太郎 福音館書店 (中国)
- 3 おばけのトッカビと朝鮮人参 水谷章三 太平出版社 (韓国)
- 4 ガラスのめだまときんのつなのやぎ
田中 かな子 福音館書店 (ロシア)
- 5 へらない稲たば 李 錦玉 岩崎書店 (韓国)
- 6 天下一の弓使い 松本 猛 小学館 (中国)
- 7 トッケビのこんぼう チョン=チャジュン 平凡社 (韓国)
- 8 あおがえる 李 錦玉 福音館書店 (朝鮮半島)
- 9 くった のんだ わらった
内田りさ子 福音館書店 (ポーランド)
- 10 パンのかけらとちいさなあくま
内田りさ子 福音館書店 (リトアニア)
- 11 まほうのたいこ 内田りさ子 福音館書店 (シベリア)
- 12 とらとほしがき パク・ジェヒョン 光村図書 (韓国)

- 10 つくってあそぼうよ①こうさくしてあそぼう
サリー・ヘウィット 偕成社
- 11 たのしい室内あそび⑤⑧ 竹井史郎 小峰書店
- 12 てじなでだましっこ 佐伯俊男 福音館書店
- 13 女の子と男の子のための料理と手芸①楽しいお菓子作り
- 14 女の子と男の子のための料理と手芸②毎日のおやつ
- 15 女の子と男の子のための料理と手芸③手作りパーティークッキング
- 16 女の子と男の子のための料理と手芸④みんなでアウトドアクッキング
- 17 女の子と男の子のための料理と手芸⑤かんたんなごはん作り
13~17 河野公子 ポプラ社
- 18 カレーをつくろう 坂本 廣子 偕成社
- 19 はじめてのおりがみ 鈴木 勤 世界文化社
- 20 ばんごはんをつくろう (和食) (洋食・中華)
坂本 廣子 偕成社
- 13 銀のうでわ 君島久子 岩波書店 (中国)
- 14 ほしになったりゅうのきば 君島久子 福音館書店 (中国)
- 15 おどりのすきなとら 松谷みよ子 太平出版社 (中国)
- 16 風の神とオキクルミ 萱野 茂 小峰書店 (アイヌ)
- 17 うさぎのみみはなぜながい
北川民次 福音館書店 (メキシコ)
- 18 ランパンパン マギー・ダフ 評論社 (インド)
- 19 太陽へ飛ぶ矢 マクダーモット ほるぷ出版 (インディアン)
- 20 牛になった寝太郎 ホン ソン チャン 汐文社 (韓国)
- 21 3匹のやぎのがらがらどん
マーシャ・ブラウン 福音館書店 (ノルウェー)
- 22 ヒマラヤのふえ
A・ラマチャンドラン 木城えほんの郷 (インド)
- 23 王様と9人の兄弟 君島久子 岩波書店 (中国)
- 24 プンク マインチャ 大塚勇三 福音館書店 (ネパール)
- 25 てぶくろ エウゲーニー・ラチョフ 福音館書店 (ウクライナ)
- 26 たまごからうま 酒井 公子 偕成社 (ベンガル)